

新年のあいさつ



明けましておめでとうござ
います。

皆様方におかれましては、
ご家族おそろいで輝かしい新
春を健やかに迎えのことと
お慶び申し上げます。

私は、町民の皆様が何を悩
み、何を考えているのか、そ
こから可能性や課題をみつけ
町政につなげる「対話による
まちづくり」を訴え、町制施
行90周年を迎えるこの大崎町
の町政を担当させていただく
ことになりました。改めて責
任の重さを感じ、身が引き締
まる思いであります。また、
同時に「まちづくりは総力戦」
という思いを持ち続け、まち
の未来のために町民の皆様と
力を合わせて全力で進んでま
いりたいと思っております。

国内においては、依然とし
て少子高齢化が急速に進む
中、都市圏への人口流出によ
って地方はさらに若者不足・
人口減少が加速しています。

一方で、昨年は日本憲政史
上初の女性総理が誕生し高市
早苗内閣がスタートしまし
た。女性活躍を象徴するこの
出来事は国内外からも高い支
持と期待を受けこれからの日
本をけん引する新しいリーダ
ーとして期待されています。
このような状況のなか、大
崎町長として私は次のような
ことに積極的に取り組んでま
いりたいと思っております。

◎『いくつになっても安心し
て暮らせるまちへ』町内機関
との連携を基本に医療・福祉
の体制の充実を図るとともに
移動に困っている方の交通手
段を整え、地域の利便性向上
を図り、災害時も安心できる
地域の見守り体制の充実をめ
ざします。

◎『町民が主役！地域の力を
活かすまちへ』自治公民館等
の自主的な活動を応援し、集
落道路環境の整備等をしっか

り支援できる体制づくりに努
めます。また、女性や高齢者、
子育て世代など、より多様な
方々の声を反映する対話の仕
組みを整えていきます。

◎『地域と将来へ投資するま
ちへ』物価高騰対策の商品券
や事業者支援で町の元気を守
り、暮らしを支えるインフラ
整備など、活力ある地域づく
りへ投資します。ふるさと納
税はさらに魅力あるものに
し財源の確保に努めます。

◎『子育てしやすい、住みよ
いまちへ』中学生の制服の無
償化など子育てにかかる経費
の支援と学校給食での地元食
材の利用率を高め地産地消に
よる食育を進めます。また、
確かな学力の定着、特性のあ
る子どもの学びの場の充実を
図るとともに、空き家改修な
どで子育て世代の定住を支
援、雨の日も遊べる場所を整
えます。

◎『農畜産業と環境を守るま

ちへ』新規就農支援、有害鳥
獣対策、農地整備を進めなが
ら、耕作放棄地を減らし、美
しい景観を守るとともに環
境にやさしい農業を推進し
ます。資源リサイクルに関し
ては利便性の向上を図りな
がら、大崎町の特徴を活かし
て交流と観光につながる取
り組みを推進していきます。

この他にも、大崎町が今後
取り組んでいかなければなら
ない課題はたくさんあります。

本格的な人口減少時代を
迎え、基幹産業である農林水
産業の担い手不足、耕作放棄
地や荒廃森林の増加、地域医
療の確保、地域公共交通の在
り方、情報通信格差、集落機
能の維持など、多くの課題を
抱えております。そういった
中にあっても身近な自治体
としてそれぞれの課題を本
質的に捉え、『対話に
よるまちづくり』

の理念を浸透さ
せていきたいと
考えています。こ
れまでの取り組みを

継続し改善をおこないなが
ら町民の皆様が、『この町で
安心して、健康で尊厳をもつ
て暮らし続けられること』と
いう目的に向かって職員と
共に全力で取り組んでまい
りますので、引き続き皆様
のご理解とご協力をお願い申
上げます。

令和八年一月吉日

大崎町長

中野 伸一

